



前後町長と宇南山教育長に受賞を報告した緑小と長瀬小の児童ら

優れた活動団体を表彰

県緑の少年団活動コンクール表彰受賞報告

県緑の少年団活動コンクール表彰で関東森林管理局長賞を受賞した緑小学校と奨励賞を受賞した長瀬小学校の両校の緑の少年団は8月26日、町役場を訪れ、前後公町長と宇南山忠明教育長に受賞を報告しました。緑小6年生の大川原 颯 団長と佐藤暖花副団長、長瀬小6年生の筑井陸登団長と遠藤志保副団長がそれぞれの活動内容などを報告。緑小は猪苗代湖の浜清掃や募金活動など、長瀬小は花壇づくりや奉仕活動などに取り組んでいます。



前後町長に受賞報告した千明さん(左)と宏薫さん(右)

林さん夫婦そろって受賞

自然環境局長表彰

自然公園指導員表彰で自然環境局長表彰を受賞した林千明さん(ちあき)と林宏薫さん(ひろのぶ)は9月2日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。自然公園指導員として千明さんは磐梯朝日国立公園と尾瀬国立公園で、宏薫さんは磐梯朝日国立公園で動植物の保護、自然環境の美化清掃、利用者の事故防止など適正な利用の推進に寄与されました。また、同指導員の佐藤英一郎さんには、任期満了に伴い、自然環境局長から感謝状が贈られました。

ヒシ刈りできれいな環境に

ボランティアらが参加

猪苗代湖の自然を守る会は9月16日、猪苗代湖北岸で今年最後のヒシ刈りを行い、ボランティアら約30人が参加しました。猪苗代湖の水質を改善しようと同会が毎年7月から9月にかけて実施。猪苗代中学校や翁島小学校、県内の学生、企業など延べ約400人が参加し、約41トンのヒシを回収しました。

刈り取ったヒシは、肥料などに再利用されます。この肥料を使って栽培されたスイカが参加者に振る舞われました。



刈り取ったヒシを回収する参加者

適正かつ計画的な財政運営を

令和3年度決算審査意見書提出

町監査委員の佐賀要一代表監査委員と五十嵐ミエ子監査委員は8月25日、前後公町長に令和3年度決算審査に対する意見書を提出しました。町監査委員会では、8月8日から12日まで審査を実施。一般会計、特別会計および病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計について関係帳簿や証書類と照合した結果、各会計ともに誤りのないものと認められました。今後も適正かつ計画的な財政運営を図るよう意見しました。



前後町長に意見書を手渡す佐賀代表監査委員(中央)ら



アサザの種を丁寧に手ですくう様子

アサザの種取り

翁島小学校の児童が猪苗代湖の水質改善へ

翁島小学校6年生の児童10人は9月27日、猪苗代湖北岸で湖水を浄化する働きがある水生植物のアサザの種取りを行いました。種取りは、猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表や磐梯青少年交流の家の職員が協力。

取った種は学校でまいて、苗に育てます。翌年度に6年生になった児童たちが、その苗を猪苗代湖に移植し、水質の改善につなげます。



取ったアサザの種を見せる児童



水草のコウホネでネックレスを作る鬼多見代表(左)と児童



工人の写真や作品を紹介するコーナー

「たこ坊主」誕生100周年

第1回中ノ沢こけし祭り

第1回中ノ沢こけし祭りは9月11日、中ノ沢温泉街で開かれました。目の周りに赤い化粧を施しているのが特徴で、たこ坊主の愛称で知られる中ノ沢こけし。今年で誕生100周年を迎えたことから、町内の有志でつくる中ノ沢こけしプロジェクト実行委員会が主催しました。メイン会場の中ノ沢体育館では、たこ坊主の生みの親である岩本善吉の作品が展示されたほか、現役工人の作品紹介や即売会、絵付け体験などが行われました。

県産のヒノキと触れ合う

さくらこども園で木工体験教室

木工体験教室は9月9日、さくらこども園で開かれ、園児が参加しました。就学前の幼少期から木と触れ合い、森づくりへの意識を高めてもらうのが目的。木と触れ合う体験として「やすりがけ」と「塗料塗布」を行ったほか、「木を育てて森になる話」や「使用する材料の特性」などについての講話を聞きました。

園児は、「塗るのが楽しかった」「やすりがけでザラザラしている所がスベスベになって楽しかった」など感想を話しました。



ヒノキの靴箱に塗料を塗る園児